

子育て支援についての問合せに対する町の回答について

先日、子育て中の町民の方から町長宛てに、町の子育て施策に対する要望を含めたご意見をいただきました。子育て中の皆さまの思いを反映していると思われまますので、ご紹介させていただきます。

■件名 子育て支援について

■内容

上市町長 中川様

幼い子供2人を育てております。いつも子育て支援をしていただき、ありがとうございます。

私は子育て中に上市町に引っ越してきました。上市町なんてなにもないし、田舎だし…そう思っていたのですが、今、子育てをしていて、子供を育てやすい環境で上市町に住んでよかったと思っています。

町で行われている子育てのイベントや、支援センター、カミールの遊び場や、絵本室など。遊びやすいだけでなく、係の方たちが親切で、素敵な街に住めてよかったなと思います。

しかしながら、上市町は人口が減少し、少子化が進んでいて、子供たちの将来が不安でもあります。

最近では氷見市や魚津市が、第1子の1歳児からの保育料無償化を決定しました。

これ以上、上市町から子育て世帯が流出しないためにも、富山市や舟橋村、立山町よりも早く、同じような政策をしていただけないでしょうか。

舟橋村や立山町は富山市のベッドタウンとして若者の人気が高まっていると思います。

私も結婚後、第二子出産前までは町外に住んでいましたが、子育ての政策や遊び場は上市町のほうが素晴らしいと思います。

住む前には分からなかったので、上市町はアピールが上手くなく、若者に伝わりにくいのではないでしょうか。ホームページを新しくし、子育て政策についてアピールしてはどうでしょうか。その際、絵本室やこどもの城のホームページも新しくし、リンクを飛ばしてイベントが見やすくするなどしてはどうでしょうか。

また現在も行われている上市町若年世帯定住促進事業（住宅取得補助金）について、もっとアピールしてはどうでしょうか。町内在住世帯の補助金も移住者と同じくらいに引き上げると、町内に留まる若者も多いと思います。

財源の確保が難しいと思いますが、ふるさと納税制度の返礼品を見直されてはいかがでしょうか。たとえば、池田模範堂さんに協力してもらい、アンパンマン商品などを返礼品に含める。リッチェルさんは人気の子育て製品がたくさんあるので、返礼品として申し込む人は多く居そうです。本社が上市でなくても、上市に工場を持っている企業へ返礼品にしてもらえないか打診していただけないでしょうか。

なんとか素晴らしいこの町が賑わってほしく、未熟者ではありますが、精一杯考え、お手紙を書かせていただきました。

長文にて失礼しました。ご検討、よろしくお願ひします。

町からの回答文

この度は、町宛てに貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。いただいたご意見につきまして、町長も確認の上、次のとおり回答いたします。

1 第1子の1歳児からの保育料無償化について

町の保育料については、現在、第2子は通常の半額、第3子以降は無料となっており、また、3歳以上児については全国的に無償化されています。副食費については、第3子以降は無料として既に実施しています。これらについては、いずれも所得制限は設けておりません。

町では、子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、このほか、令和4年度中に実施した小中学校の給食費無償化について、令和5年度においても引き続き無償化いたします。なお、小中学校の給食費を無償としているのは、県下で上市町と朝日町だけです。

町としても、子育て支援は最重要課題であると認識しておりますが、限られた財源の中で、ご提案いただいた「第1子1歳児からの保育料無償化」を含め、更なる子育て支援策の検討を進めてまいります。

参考までに、町外からの移住定住を促進するための専用ポータルサイト「かみスイッチ」において、ライフステージ別の支援制度を掲載していますので、ご覧ください。このサイトでは、各種子育て施策や関連施設、お得な支援制度などの情報を掲載し、町で生活するメリットや魅力を最大限に発信するよう努めております。

2 ホームページについて

町のホームページにつきましては、3月7日に、全面リニューアルをしたところであります。ご覧いただき、ご感想などをお寄せいただければ幸いです。また、SNSの展開や情報共有のためのツールの導入など、利用者が使いやすいものとなるよう今後も工夫してまいります。こどもの城や絵本室のイベント等の情報についても、より見やすくなるように工夫いたします。

また、2月1日に出産・育児支援に関する情報を集約し、分かりやすく情報提供するサイト「きらきらかみっ子」を開設しました。スマートフォンにも対応していますので、出産・育児に関する地域の情報を知りたい時や困った時にご利用ください。

3 若年世帯定住促進事業（住宅取得補助金）について

若年世帯定住促進事業につきましては、昨年4月から若者の移住・定住をより一層促進するため、指定地域の区分をなくし、補助金を実質的に増額するとともに、新たに中学生以下の子供1人当たり20万円を加算することで、県内トップクラスの制度に見直したところです。

町のホームページでの紹介や、窓口でのパンフレット配布のほか、県内の各ハウスメーカーや宅地建物取引業者にパンフレットを送付するなど、制度のPRを進めてきたところであります。

なお、町内在住世帯向けの補助金は、近隣市町村の補助金よりは高額になるように設定しておりますので、この点も含め、一層のPRに取り組んでまいります。

4 ふるさと納税について

ご指摘の通り、ふるさと納税制度については、上市町の魅力を多くの方にPRできる場であり、返礼品の充実は必要と考えております。

ご提案のありました(株)池田模範堂様や(株)リッチェル様の製品について、過去に検討を致しまし

たが、(株)池田模範堂様のアンパンマンを使用した商品については製造元が県外であること、同社のその他の医薬品についても法律上返礼品にできないこと、(株)リッチェル様の製品については主要な加工を町の工場で行っていないため、返礼品として登録できる基準を満たしていないことから、いずれも返礼品としての登録を断念した経緯があります。

これまでも、町の特産品である里芋や名水として名高い穴の谷霊水、日石寺の滝行体験などを提供してきましたが、先般、全国ネットのテレビ番組にも取り上げられたことがある大岩そうめんを返礼品に追加したところであります。今後も、新たな返礼品の開拓と町の魅力発信に努めてまいります。

各分野にわたる御指摘ありがとうございました。

今後も、町の掲げる政策のわかりやすいPRに努めてまいります。

上市町長 中川 行孝